

救急救命科 教育課程

2014年(平成26年)4月より

教育内容		指定単位数	科目名	授業の方法	単位	履修時間数	単位当たり	1学年	2学年	3学年	
基礎分野	科学的思考の基盤	4	化学	講義	2	30	15	30			
			生物学	講義	2	30	15	30			
			情報科学	講義	2	30	15	30			
人間と生活	4	英語	講義	2	30	15	30				
		保健体育	演習	2	60	15	60				
専門基礎分野	人体の構造と機能	4	解剖生理学	講義	2	30	15	30			
			生化学	講義	2	30	15	30			
	疾患の成り立ちと回復の過程	4	薬理学	講義	2	30	15			30	
			病理学	講義	2	30	15	30			
			法医学	講義	2	30	15		30		
			感染と免疫	講義	2	30	15		30		
	健康と社会保障	2	検査診断	講義	2	30	15			30	
			公衆衛生学	講義	2	30	15			30	
	社会保障・社会福祉		社会福祉学	講義	2	30	15		30		
			救急医療概論	講義	2	30	15	30			
救急医学概論	6	救急処置法	講義	2	30	15	30				
		患者搬送法	講義	2	30	15	30				
		心肺停止Ⅰ	講義	2	30	15		30			
救急症候・病態生理学	8	心肺停止Ⅱ	講義	2	30	15		30			
		症候と病態Ⅰ	講義	2	30	15	30				
		症候と病態Ⅱ	講義	2	30	15	30				
		症候と病態Ⅲ	講義	2	30	15		30			
		観察と評価	講義	2	30	15	30				
疾病救急医学	8	呼吸器疾患	講義	2	30	15		30			
		循環器疾患	講義	2	30	15		30			
		消化器疾患	講義	2	30	15		30			
		泌尿器疾患	講義	2	30	15		30			
		神経・内分泌系疾患等	講義	2	30	15		30			
		高齢者疾患	講義	2	30	15		30			
		産婦人科	講義	2	30	15		30			
		小児科疾患	講義	2	30	15		30			
外傷救急医学	4	精神科疾患	講義	2	30	15		30			
		一般外傷Ⅰ	講義	2	30	15		30			
		一般外傷Ⅱ	講義	2	30	15		30			
		頭部・頸椎・顔面損傷等	講義	2	30	15		30			
環境障害・急性中毒	1	熱傷・運動器損傷等	講義	2	30	15		30			
		環境障害	講義	2	30	15			30		
急性中毒	1	急性中毒	講義	2	30	15			30		
		臨地実習	25	シミュレーション実習Ⅰ	実習	8	360	45	360		
				シミュレーション実習Ⅱ	実習	6	270			270	
				シミュレーション実習Ⅲ	実習	7	315				315
臨床実習	実習			5	225				225		
その他			特別講義	講義	8	120	15			120	
合計		70			110	2460		810	840	810	